

本と人をつなぎます  
**矢祭子ども司書**



矢祭子ども司書講座では、町内の小学校  
 4年生～6年生の希望した子どもたちが  
 1年間、図書館の役割や本のことについて学びます。

子ども司書の認定を受けた子どもたちは  
 「本と人をつなごう」を合い言葉に、図書館や  
 学校など読書に関わる場所で活躍しています。

子ども司書制度は、平成21年6月に全国に先駆けて  
 矢祭町で始まり、現在 急速に各地に  
 広まりつつあります。



矢祭町の将来を担う子どもたちが、書が好奇心を育み、  
 夢と希望に満ちて健やかに成長するために、  
 私たちは、子どもたちの読書活動を応援しています。

【発行】矢祭町「子ども読書の街」づくり推進委員会

福島県東白川郡矢祭町大字東松字石田25  
 矢祭町教育委員会 生涯学習グループ内  
 TEL・FAX 0247-46-2202



おいしいちゃんの次は  
 わたしの番ね。



## 「うちどく」で もっとなかよし家族

楽しいことがあった時、だれかに伝えたいと思ったことはありませんか。私たちは、同じ思いを共有することで、こころのつながりを強く感じることができます。

心に残る本を読んだ後は、家族で話してみましょ。きっと家族の絆が深まることでしょう。家族で同じ本を読んだり、読んだ本のことを話したり、読書を通して家族のコミュニケーションを深めようというのが、

**うちどく(家読=家庭読書)**です。

うちどくのやり方に特別なきまりはありません。家族で話し合っ、わが家にぴったりのうちどくスタイルをみつけてみましょう。



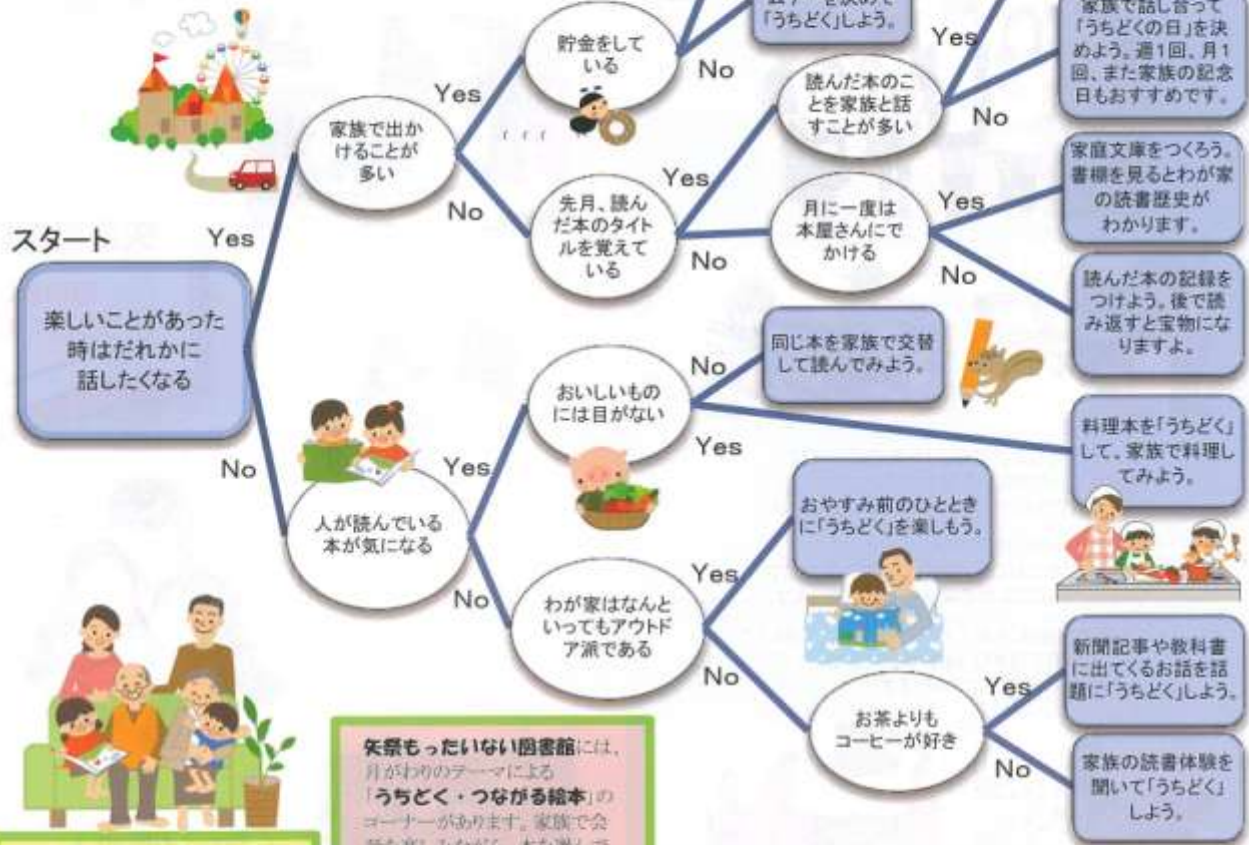
## 地域でささえる子ども読書

- ◆読み聞かせグループ「手のひらの会」は、町内の小中学校で朝の読み聞かせやブックトークなど子どもの読書活動の支援をしています。
- ◆毎月第3日曜日の矢祭読書の日には、町内の集会施設にある「矢祭もったいない文庫」が開館し、文庫サポーターが地域の方へ本の貸し出しを行っています。
- ◆「山野井金沢うちどく会」は、おはなし会やうちどくノートの活用など、地域をあげて「うちどく」活動をすすめています。

地域のみなさんが手をつないで、子どもと本をつなぐ取り組みが広がっています。

## うちどく Yes & No

わが家にぴったりのうちどくスタイルが見つかる…かも



「絵本は人生に三度」と言われています。まずは子どもの時に親に読んでもらい、親になったら子どもに読んであげる。そして人生の後半は自分のために…。どの世代でも読める絵本は「うちどく」にオススメです。

矢祭もったいない図書館には、月が替わりのテーマによる「うちどく・つながる絵本」のコーナーがあります。家族で会話を楽しみながら、本を選んでみてはいかがでしょうか。

読書の記録を楽しくつけることができる「季節のうちどくノート」やオススメの本を紹介した「うちどく本リスト」を図書館で配布しています。どうぞお役立て下さい。

♪おおかさんのひざの上♪  
♪円座になって顔を見ながら♪  
♪テーブルを囲んで…♪  
♪など年齢にあったスキップをとりながら「うちどく」しましょ。

